

# ヨミネス 議会だより しばた



第142号

発行/新発田市議会  
編集/議会運営委員会

特集

人生100年時代を生きる  
健康長寿のしばたライフ



## CONTENTS

- |       |                            |     |                |
|-------|----------------------------|-----|----------------|
| 2~5.  | 特集/人生100年時代を生きる健康長寿のしばたライフ | 14. | 市議会だより愛称決定     |
| 6~7.  | 主な議案・議決結果                  | 15. | お知らせ           |
| 8~12. | 一般質問 Q&A                   | 16. | SHIBATA TOPICS |
| 13.   | 議会報告会を開催しました               |     |                |

レスキューロボコン新発田大会2021（令和3年12月26日・新発田市生涯学習センター）

小学校で感染症クラスター発生のため、いつもの約半数、9チームの参加となった。災害時、人の入れない環境を再現し、レスキューロボットが無人で救助活動をする。



## 特集

# 人生100年時代を生きる 健康長寿のしばたライフ

「人生100年時代」という言葉をよく耳にするようになりました。新発田市においても三人に一人が65歳以上の高齢化社会となっています。年を取っても健康で生き生きと暮らすには…？  
地域で元気に活動する高齢者グループの皆様を広報委員でインタビューしてきました。

### Q.健康の秘訣は

毎日のゲートボールです。ゲートボールは色々な人と話したり、試合を楽しむことができますので楽しくやっています。おかげさまでとても健康です(笑)



藤井 シゲコさん(97歳・城北町)  
ゲートボール歴30年。毎日の練習が欠かせない。  
新発田市ゲートボール連盟第6地区に参加されています。

## ライリッシュオカリナクラブ あやめ

構成メンバー：指導者 ライリッシュ・オカリナ連盟 須田 義延さん  
女性10人、男性2人の合計12人 年齢は69歳～92歳

活動頻度：月2回(隔週月曜日) 午前10:00～11:30

活動場所：健康長寿アクティブ交流センター

### Q.会の名前の由来は

新発田をアピールするため、クラブのあとに「あやめ」と付けました。ライリッシュとは、七夕の星座、琴座で、乙姫のために琴を奏でるといった意味もあります。

### Q.活動内容は

みんなで選んだ曲集をテキストにそって楽しみながら練習しています。オカリナ連盟の各種大会に参加し、全国大会にも出ています。その他、発表会に参加。いまは今年2月の発表会に向けて練習中です。また大会以外では高齢者施設等のボランティア慰問を定期的に行っています。

### Q.参加者からの声

オカリナはあくまでも焼物なので、音色を出すのは難しいですが、皆でのハーモニーはとても楽しいです。頭はもちろん五感を全部使うので、いつも生き生き元気でいられることがうれしいです。ボランティアへ行って施設の皆さんから大変喜んでもらい、練習の励みになります。



## 新発田市ゲートボール連盟第6地区

構成メンバー：舟入町・中曽根町・城北町の老人クラブ  
年齢は69歳～97歳

活動頻度：夏場は毎日（雨天以外）、冬場は週1回程度  
午前9：00～午後4：00

活動場所：五十公野レクリエーションセンター

### Q.活動内容は

ゲートボールチームとして夏場は毎日午前中練習をしています。冬季間は屋内施設を利用して週1回程度の練習をしています。年に数回の大会にも参加しています。

ときには練習後、隣の金蘭荘で懇親会をして楽しんでいます。

### Q.参加者からの声

冬場、練習ができる場所があることはありがたいです。何もしなければこたつに入っているだけ。もっとこういう場所があれば良いと思います。



## 浦ふれあいクラブ

会 場：浦集落改善センター 立ち上げ年：2019年立ち上げ  
会員数：15人 活動日：毎週木曜日

### Q.活動内容は

ときめき体操を中心に活動。体操の休憩時間に、お茶を飲んで交流しています。定期的に忘れん・転ばんサポーターが応援に入り、年に1回体力測定や介護予防の講話も行われます。

### Q.体操に参加して感じていること

体操をすると疲れますが、終わった後はすっきりします。家から外に出ることや体を動かすことが健康にとって大事ですね。

取材当日は、参加者12人。そのうち80歳以上の人が4人でした。また、週1クラブに9割以上参加した7人に「ときめき賞」の贈呈が行われました。



## ときめき週1クラブとは

住民主体で運営され、週1回、歩いて通える公会堂などで定期的な運動を行う場。概ね65歳以上の高齢者5人以上が参加して運営されています。活動内容は筋力の維持向上に効果的な新発田市オリジナルの「しばた・ときめき体操」を行います。自主的に取り組めるよう「しばた・ときめき体操」が収録されたDVDなどを市から提供しています。

詳しい内容については 新発田市高齢福祉課 電話 28-9202までお問い合わせください。

# 健康長寿に対する取り組み

## ● 市の取り組み

新発田市では、これから更に進む超高齢社会を乗り越えるために、「新発田市健康長寿アクティブプラン」を令和2年3月に策定し、今までの取り組みをさらに加速し強化することで、健康長寿によるまちづくりを進めていきます。

年	概要
昭和40年代～	生活習慣病対策を医師会や関係機関、大学、地域と連携
平成15年	市民の健康づくり担当部署の「めざせ100彩推進係」を設置 市民公募により「めざせ100彩健康づくり推進実行委員会」を結成し、市民参画のもとで「めざせ100彩」をスローガンにウォークイベントや食育啓発のイベント事業を展開
平成18年	「健康づくり計画」を策定
平成21年	「食の循環によるまちづくり推進計画」を策定、市内全保育園・幼稚園、小中学校で事業を展開
平成28年	住民が主体的に地域の通いの場（ときめき週一クラブ）を運営し、オリジナル介護予防体操「しばた・ときめき体操」を地域に広め、市内79か所（令和3年7月時点）で実施



## ● 地域での活動

地域での活動として、健康づくりを地域住民に発信する「保健自治会」「食生活改善委員推進協議会」も創立50年を超えるなど、永きに渡り市民が主体となった健康づくりを推進しています。

## ● 議会の取り組み

少子高齢化、人口減少と同様に、健康寿命の延伸に向けた取り組みについて議会としても多くの議員や委員会の中で取り上げてきました。令和3年には高齢者のフレイル予防に関連性が深い口腔ケアを全市的に推進する議会発議の条例「新発田市歯と口腔の健康づくり推進条例」を議決し、施行されています。

今後も2030年代までは高齢化率は上がると予想されます。年を取っても健康で生き活きと暮らせる健康長寿実現のためには、市民と行政、議会も足並みをそろえて取り組んでいく必要があります。

取組み	回数	概要
一般質問	12回	高齢者支援体制、健康経営の推進、補聴器購入支援、健康長寿の実現、高齢者の運動施設整備、老人福祉センターについて、歯と口腔の健康維持
代表質問	4回	聴こえの改善、健康長寿、高齢者の活動施設確保
常任委員会視察	1回	地域主体の介護予防拠点事業を視察
特別委員会	5回	予算及び決算審査の重点審査事項として健康長寿を取り上げる
会派視察	1回	共生型福祉ターミナル、健康の駅について視察
条例制定		「新発田市歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定 ※詳細は右ページをご覧ください⇒



## ● 議会発議による「口腔ケア」に関する条例を制定 ●

新発田市が「健康長寿」を重点施策として位置づけ、特色ある健康づくり施策を展開していることを議会としても後押しする機運が盛り上がり、様々な取組みがある中で、人生100年時代には歯と口腔の健康（＝健口）が重要であるという視点に立って、議員政策勉強会で田上前新発田市歯科医師会長から講演いただき、社会文教常任委員会で条例制定に取りかかりました。

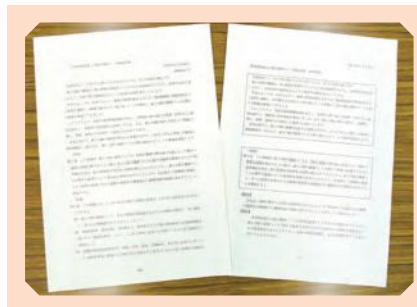


歯と口腔ケアの重要性を学びました  
(令和元年8月議員政策勉強会)



講師から「健口」について学ぶことができる本もいただきました

私たちが作った条例は、前文に示されているとおり、「未来に向けて、誰もが願う健康長寿社会を実現するため、これまで以上に市民、行政、関係機関が一体となり、歯と口腔の健康づくりに取り組む」ことを目指しています。



条例の作成に当たっては、新発田市歯科医師会並びに執行部からご意見、ご尽力いただき、制定に漕ぎつけました。議会が市民に働きかけ、執行部と協働して作成した条例となったものです。



市歯科医師会との意見交換会  
(令和2年10月)

新発田市議会では、市民の意見を市政に的確に反映させるため、「議会基本条例」や「中小企業振興条例」などを制定したように、議会発議による条例制定に重きを置いています。

## 犯罪の被害に遭われた方、そのご家族に寄り添った総合的な支援を行います

- 新発田市犯罪被害者等支援条例制定

<総務常任委員会での質疑>

Q 具体的な内容は。

A 被害者の方の負担にならないよう一元的に対応し、ご本人が希望する専門窓口を調整。福祉制度の活用、市営住宅の確保や見舞金の支給など被害者の方が安心して生活できるよう総合的な支援を考えています。



## 子育て世帯へ子ども一人10万円一括給付

- 子育て世帯臨時特別給付金事業

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 申請の方法は。

A 現在児童手当を受給している世帯は、高校生分も併せてプッシュ型(申請不要)でお支払い。

公務員や児童手当を受給していない方は、申請をお願いします。



## 放課後児童クラブの利用料が令和4年4月から無料になります

- 新発田市児童クラブ条例の改正

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 無料化すると利用者が増えるのでは。

A 150人程度増えることを想定しています。指導員の確保は可能。2か所の児童クラブは、小学校のグラウンド、体育館、近くの公共施設を利用します。



## 灯油購入費を助成します

- 灯油購入費助成金支給事業

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 生活困窮世帯を対象にした助成だが、額は上げられないのか。

A 1ℓあたり20円以上値上がりしており、昨年と今年を比較してドラム缶(200ℓ)1本分の差額程度を支給することとしました。



## あやめバス2台を入れ替えます

- コミュニティバス事業特別会計補正予算

<総務常任委員会での質疑>

Q 委託事業者のメンテナンス不足がバス寿命の低下に結びついているのでは。

A 毎日の洗車などメンテナンスは行っています。消雪パイプの水、凍結防止剤でボディが朽ちた部分の劣化が激しくなっています。それ以外の修繕が多額となっており、入れ替えをお願いするものです。



# 主なものをご報告します。

## 定例会

### 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種を行います

#### ●予防接種事業

#### <社会文教常任委員会での質疑>

Q 3回目は1、2回目と変更はあるか。

A 1、2回目に準じた体制で臨む予定。開始後に国の方針が変わることもあります。しっかり接種できる予算としました。



### 旧天王小学校にコワーキングスペース、シェアオフィスを設置

#### ●コワーキングスペース等設置事業

#### <経済建設常任委員会での質疑>

Q 旧天王小学校を選んだ理由は。

A 建物の新しさ、交通アクセスの良さ、周辺に若者が生活を楽しみながら仕事ができる環境が適しています。

Q 改修内容、使用開始の時期は。

A 校舎のみ改修。来年の秋以降にオープン予定です。



## 12月臨時会

### 様々な困難に直面した方々への生活支援

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円が支給されます。

### 新しい議会人事のご報告(敬称略)

新発田地域広域事務組合議会議員(当選)

湯浅 佐太郎 議員

### 主な議案等に対する賛否の一覧

12月定例会	議第62号	新発田市犯罪被害者等支援条例制定について	賛成多数
	議第60号	新発田市一般会計補正予算第9号	全員賛成
	議第73号	新発田市一般会計補正予算第11号	賛成多数
	議第82号	新発田市一般会計補正予算第12号	全員賛成
12月臨時会	議第83号	新発田市一般会計補正予算第13号	賛成多数

詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。



12月定例会



12月臨時会

## 一般質問

# 今後の生活 どう変わる？どうなるの？

### 一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案したりしました。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



### Q1 続・教育委員会の事なかれ主義と組織的問題 Q2 街づくりに「プロボノ」の活用を検討しては

▶ 小柳はじめ 議員



- Q 法令違反を指示しながら「運転手の判断」と責任転嫁したのは教育者として問題だ
- A 現場において最良の配慮の中で結果的にそのような判断をしたと想像し、答弁した
- Q 文書は残るが口頭での再三の申し出は伝わらない組織文化は問題だ
- A 口頭はニュアンスに左右される場合があり文書の方が共有可能なためありがたい

- Q 若年層ではスキルアップのためノウハウを提供するボランティアが活発だ。Uターンのキッカケに制度化してはどうか
- A 海外や都会での経験やスキルをボランティアで故郷に恩返ししたいというニーズは大きく今後研究したい



### Q1 市内全小学生に実施したPCR検査について Q2 マスクシン드ロームの問題点と対応について

▶ 渡邊葉子 議員



- Q 実施に至るまでの経緯・必要性、効果・成果はどうであったか。
- A 子どもからの家庭内感染防止対策として実施。不安解消になった。
- Q 児童・保護者の反応はどのように把握しているか。
- A 実施の意味やいじめ懸念の意見も含め概ね理解を得たと思う。

- Q マスク着用の弊害について把握しているか。
- A 着用困難な方や身体的・精神的不調等についても理解している。
- Q マスク着用が困難な児童・生徒の把握と対応は。
- A 7名の児童・生徒から着用困難の申し出があり、適切に対応した。







**Q1 収入保険制度等について**



▶ 渡邊 喜夫 議員

- Q 市が振興する園芸作物拡大や6次産業化はリスクが伴う。収入保険は農業者のセーフティネット機能がある。加入要件は青色申告の農業者。青色申告者数と収入保険加入者数の推移は
- A 青色申告者は令和元年は758名、3年は721名。収入保険加入者は元年は43名、3年11月で101名
- Q 収入保険のメリット、デメリットは

- A 全ての農産物の収入減少が補償対象。掛金が積立方式と掛け捨ての保険方式があり割高感がある
- Q 各種農業団体での会議や市のHPで周知しては
- A 農業者の会議等での働きかけと市のHPの掲載を行うよう指示する



**Q1 大倉喜八郎別邸蔵春閣の附帯設備、利活用、門前町構想について**



▶ 水野 善栄 議員

- Q 蔵春閣の利活用について、市民との対話や計画の策定についての考えは。
- A 今後も説明会を開催し、蔵春閣の利活用に関するご意見をいただいた上で「蔵春閣利活用基本計画」を策定する。
- Q 「越後新発田門前町プロジェクト」にどのような対応、取組み、支援等を行っていくか。

- A この推進は観光誘客に繋がる大きなチャンスであり市街地の賑わいづくりや経済効果を創出する絶好の機会と捉えている。できる限りの支援を考えている。



**Q1 子育て支援の実施状況について**  
**Q2 太陽光発電設備の適正処理について**



▶ 五十嵐良一 議員

- Q 専門家の子育て相談会実施について。
- A かかりつけ保健師を中心とした継続的な相談体制を整えている。
- Q 乳幼児が登園中に病気やケガをした際の相談及び連携について。
- A 園児のかかりつけ医や嘱託医に相談し、指示があれば医療機関へ連れて行く。
- Q 保育園及びイクネスの暴漢者対応について。

- A 緊急時の素早い対応と警備員の緊急体制を整えている。
- Q 太陽光パネルの感電等の注意喚起について。
- A 感電事故の危険性と事故を未然に防ぐ適切な管理を注意喚起する。





**Q1 ワクチン接種は感染有無の証明にならないが**  
**Q2 職員の敷地外喫煙で副流煙被害の苦情あり**



▶ 青木三枝子 議員

- Q 大規模宴会や飲食店利用前に無料抗原検査を
- A 現時点では考えていない
- Q 介護施設での直接面会を可能にするため市独自の無料抗原検査を
- A 取り組む予定はない
- Q 現状のままにするのか
- A 職員の喫煙マナーを徹底するよう指示した
- Q 自ら進んで禁煙してもらえるよう市職員及び市民を対象とした禁煙外来治療費助成を

- A 職員から助成の要望はなく実施する考えはない。市民に対しては現時点で考えていないが引き続き啓発を行う
- Q 市職員募集要項に非喫煙者を採用したい旨を入れては
- A 優秀な人材を確保する観点から非喫煙者に限定した採用は考えていない



**Q1 GIGAスクール構想の課題について**  
**Q2 学校の働き方改革と取組みについて**



▶ 三母高志 議員

- Q ICTを等しく活用するため特別支援教室等への通信環境は整備されているか。
- A 通信環境を調査し検討、年度内に整備完了予定。
- Q インクルーシブ教育でのICT活用は、今後どう取り組むのか。
- A インクルーシブ教育推進のため、一人一人に適した個別指導計画で充実を図る。
- Q スクールサポートスタッフ配置効果と次年度の配備について。

- A 中学3校、小学6校に派遣、多忙解消効果があった。次年度も同様の計画だ。
- Q 校務支援システムの開発及び導入の状況について。
- A 阿賀北首長会でシステム導入を決め、来年9月導入予定。



**Q1 学校給食における調理業務委託拡大について**



▶ 小坂博司 議員

- Q 北共同調理場及び五十公野共同調理場が民間委託となると、すでに民間に委託している共同調理場を合わせると委託率は84.7%となる。今後どのように進めるのか？
- A 令和5年度から5年間の業務委託に係る経費について令和4年度当初予算への計上を予定している。
- Q なぜ調理業務の委託拡大を進めようとしているのか？

- A 市教育委員会として、経費削減に取り組み老朽化する調理場施設・設備の維持更新に要す財源を確保し、安心・安全でよりコストの低い学校給食の安定供給に努める。





**Q1 中心市街地再開発について**  
**Q2 市街地の空き家問題と空洞化について**



◎ 小林 誠 議員

- Q 新庁舎完成から5年、賑わいは戻っていない。官民連携での中心市街地再開発が望まれるが描くビジョンは
- A 民間事業者と連携しながら行政は後方支援をしていきたい
- Q 商店街の老朽化した空きビルの撤去について
- A 一義的に所有者が管理すべきであり、代執行については慎重に検討したい

- Q 市街地の空き家が増加し、中心部の空洞化が進んでいるが対応策は
- A 宅建協会や社協と連携し空き家解消に取り組んでいる
- Q 特定空き家以外の解体費用の支援について
- A 他市の事例を参考に研究したい



**Q1 難聴者の補聴器購入助成制度はいつから？**  
**Q2 運転免許証返納者に優しい環境整備を**



◎ 佐藤 真澄 議員

- Q 6月議会の一般質問で、市長から「市独自の助成制度を創設」する旨の答弁があった。導入時期、助成対象、助成額等は。
- A 現在、実施している市町村の事例を参考に令和4年2月定例会で新年度予算案で示したい。
- Q 公共の交通機関が脆弱な本市ではマイカーは欠かせない。自主返納しやすい環境整備は行政の課題ではないか。

- A 整備を進めるに当たり、自治会長や地域の皆様に受け入れられる運行に努めている。
- Q 免許証返納時の助成制度の改善を。
- A 検討したい。



**Q1 当市におけるインターネットの活用について**  
**Q2 観光ガイドの活用について**



◎ 板倉 久徳 議員

- Q 多くの企業や自治体は、WebサイトやSNSを活用して情報発信をしているが、当市も戦略的に発信しては。
- A 有用な情報発信が見込めるツールは、積極的な活用を検討したい。
- Q ホームページのデザインをリニューアルしては。
- A システム更新に向け、見やすく情報を取得しやすくなるよう検討したい。

- Q 今後の観光ボランティアの活用計画は。
- A 観光客に満足していただけるよう支援したい。
- Q 観光ガイドに堀部安兵衛の法被など着てガイドしてもらっては。
- A 観光協会を通じ観光ガイドボランティア協会と協議するよう担当課に指示した。







**Q1 屋根雪除雪助成事業の対象を拡充すべき**  
**Q2 燃油高騰による農業・漁業者、事業者支援を**



宮村 幸男 議員

- Q** ラニーニャで大雪が心配。屋根雪除雪助成は、高齢者・女性のみ世帯にも拡大し、課税枠を外すべきだ。
- A** 本事業は高齢者や障がい者など自力で除雪できず、低所得で親族からの援助のない世帯等の社会的弱者が対象。
- Q** 原油高騰で灯油や油製品等の値上がりが顕著だ。灯油の追加助成や、稲作農家への米価下落支援、園芸農家、漁業者、中小事業者への燃料支援はできないか。

- A** 稲作農家への支援策を検討するよう担当課に指示した。園芸農家、漁業者、中小事業者に対する国の支援策周知に努め、市独自支援の必要性を検討する。



**Q1 危機管理体制の充実及び要諦について**



板垣 功 議員

- Q** 台湾情勢、朝鮮半島等の政情の不安定化や地球温暖化による異常気象、さらには感染症の状況での総合的な安全体制の構築が必要である。市長は、このような危機から市民の生命と財産を守る役割があり、危機管理に関する考え方が最も重要と思うが、考えを問う。
- A** 危機管理においては、大きく構えて、小さく収めよという考えから、防災訓練、図上

訓練や市民への意識啓発を重ねている。庁内の組織体制を構築し各種計画及びマニュアルに基づき対応する。市長として、市民の生命と財産を守るという使命を果たしていきたい。



**Q1 文化芸術の振興施策を進めることが重要**  
**Q2 介護保険制度の改悪による負担増と軽減拡充**



加藤 和雄 議員

- Q** 歴史資料館構想と美術館についての見解は
- A** 資料館は単体で整備。美術館は資料館整備完了後の課題
- Q** 文化芸術活動の発表の場などの充実のために、市のギャラリーは無料にすべき
- A** まちなかギャラリーは無料体験を継続する方向。庁舎ギャラリーは市の共催により無料対応をとりたい
- Q** これまで以上に所蔵品の展示公開を望む

- A** 文化会館を活用し機会を増やす
- Q** 当市における「補足給付」の見直しによる負担増の影響は
- A** 約420人。1人当たり1か月約14,000円の増
- Q** 市独自の介護保険料・利用料の軽減の拡充を
- A** 現時点では考えていない



# 議会報告会を開催しました

11月に、右のとおり計6回、議会報告会を開催しました。報告会では、令和2年度一般会計決算関係を中心に9月定例会で審議された内容を説明したほか、参加された皆さんと活発な意見交換を行うことができました。

いただいたご意見等については、今後の議会活動に反映させていきたいと考えています。

参加者数 (人)

11/20	午前	健康プラザしゅうんじ	6
	午後	本庁舎	10
11/23	午前	加治川支所	9
	午後	本庁舎	6
11/28	午前	本庁舎	17
	午後	豊浦地区公民館	9

## 会場での主な質疑応答

- Q 決算の歳入と歳出の差異は、繰り越しているのか。
- A 繰り越しているわけではなく、財政調整基金を活用し、調整している部分がある。
- Q 空き家対策においては、経費がかかる。対策状況について伺いたい。
- A 空き家バンク制度を設けて入居者を募集したり、老朽化して危険な建物については取り壊すことに補助をしたりしている。
- Q 請願採択後の途中経過を市民に分かりやすく発信してほしい。
- A 請願については、市議会だより2月定例会号で途中経過を記載している。参考にしてほしい。



## 参加者からの主な意見等

- 食と健康と長寿の取組みをもっと広角的に考えてもらいたい。五十公野城址等の歴史的建物のある周辺を整備していくべきである。
- 土地の造成と店舗建設が行われている、国道7号や中田町、小舟町の市道の混雑や交通事故が心配である。

## Web議会報告会の配信トラブルについて

11月30日に「YouTube Live」を利用したWeb議会報告会を行いました。機器に不具合が発生したため、途中で音声配信できなくなり、終了予定時刻を繰り上げて終了せざるを得なくなりましたことをお詫び申し上げます。

視聴して下さっていた方や、質問を予定して下さっていた方には、大変ご迷惑をおかけいたしました。今回の課題を検証し、確実な実施方法を検討してまいります。

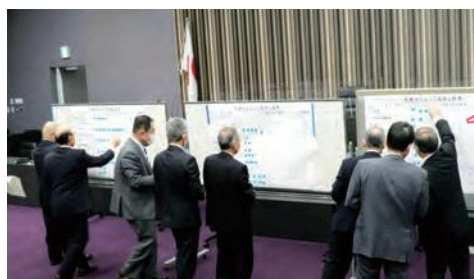


# 市議会だより愛称は『ヨミネスしばた』

32名の方から31の愛称が寄せられました。ご応募、ありがとうございました。

## 上位5案と愛称の説明

票数	愛称	説明
18	ヨミネスしばた (2名)	ヨリネス、イクネスとくればこれでしょ！ イクネス、ヨリネス、アイネスの新しい仲間として加えていただくと嬉しいです。議会だよりが新発田で親しまれて読んでもらえるように考えました。ヨ(良い事を) ミ(皆で) ネ(願えば) ス(好きになる)
14	ミテネス	もっと多くの人に目を通して欲しいという願いと、新発田のイクネスやアイネスなどの新発田らしさの「ネス」を合わせたミテネスを考えました。
9	みんなのために！	ぼくは七葉小学校5年です。最近学校の前に横断歩道ができました。お母さんに『市議会議員の人達がみんなの安全のために話し合っ作ってくれたんだよ』って聞きました。だから、『みんなのために！』にしました。横断歩道ありがとうございます。
8	あやめ便	新発田の花 あやめ 花言葉は【よい便り】 よい便りが、市民の活力になって欲しい
5	市議会だより こだま	みなさんの声、希望が「こだま」のように響き届くことを願って付けました。



全議員で  
上位5位までを  
選定(1人5票)

広報小委員会で  
採用及び次点を  
選定



## 『ヨミネスしばた』



蛭海 英雄さん

「受賞できて光栄です。『ヨリネス、アイネス、イクネス』ときたらこれしかない、と考えました。

市民の皆さんが、もっと議会に関心を持ってくれるような誌面にしてほしいです」



小野 等さん

「新発田市らしい愛称で読みやすくしたい心が伝わるよう、妻との会話の中で思いつきました。ほかにも、日本一住みやすい街を目指して、ヨ:よい街を！ ミ:みんなで！ ネ:願う！ ス:住みよい新発田！ の語呂合わせも考えました」

## 次点

### 『ミテネス』



小田島 優輝さん

「『多くの人に見てほしい』という願いを込めました。次点になってビックリしています。今は新大で『将来の地域貢献』を目指して勉強しています」

キャラクターは  
次号にて  
発表します





# 議会からのお知らせ

## 2月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24 本会議 (提案理由説明) 予算審査委員会 (財務課長説明)	25	26
27	28 本会議 (一般質問)	3/1 (一般質問)	2	3 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	4 常任委員会 (総務)	5
6	7 常任委員会 (社会文教)	8 (経済建設)	9 議会運営委員会	10	11 本会議 (一般議案・補正 予算採決、 会派代表質問)	12
13	14	15	16	17	18	19
予算審査委員会						
(第3セクター)		(総務関係)	(社会文教関係)	(経済建設関係)	(市長総括質疑)	
20	21 議会運営委員会	22	23	24 本会議 (一般会計新年度 予算議案等採決)	25	26

※請願・陳情の提出期限は2月17日です。  
※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。

## 本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継します。

### ① FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



### ② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



### ③ インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

## 赤穂義士の法被姿で本会議に臨みました



赤穂義士四十七士の一人で、当市出身の堀部安兵衛の生誕地を広く市内外に発信しようと、赤穂義士が討ち入りを果たした12月14日を前にして、市議会定例会初日の11月30日に、赤穂義士の法被を着用して本会議に臨みました。当日は、多くのテレビ局や新聞社から取材を受けました。

今後も、市議会として、新発田市を積極的にPRし、盛り上げていきたいと考えています。

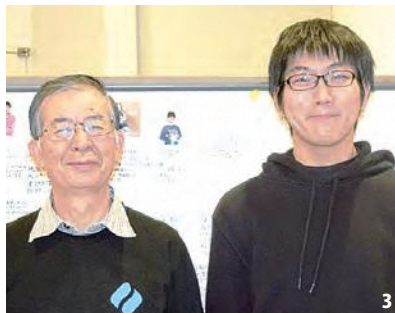


# SHIBATA TOPICS

## キラキラ輝く若いチカラ



### ロボットを使いこなす理論とスキルを身につける！



①新発田ロボコン教室は「新発田科学技術教育ネットワーク」が運営している。主に阿賀北地域の児童生徒に情報通信技術を提供することで、地域の将来を担う子どもたちの育成と地域活性化を図ることが目的だ。ロボコン教室のレベルの高さは全国でも屈指だ ②パソコンでパイソン、スクラッチ、ラボ・ビューベースのソフトなどを使って作ったプログラムでロボットを独立行動させる ③会の指導にあたる皆川孝先生（向かって左）と、手伝いに来てくれた会のOBの佐久間風さん

「難しいステージを超えられたときは嬉しい。1回全国で優勝したい」と意欲的な齋藤晴さん（御免町小4年）。「料理」と似ているとも。



｜表紙写真｜

### 「新発田科学技術教育ネットワーク」ロボコン教室

#### 民間だけでの運営、今後は公的資金導入も必要か？

会の設立は2013年10月26日。間もなく10年を迎える歴史を持つ。この間、「ロボコン教室」講座を主力に、ハードのロボット製作とソフトのプログラミング技術を磨いてきた。既にロボコン全国大会優勝1回、世界大会にも4回出場した。最近では、義務教育でのプログラミングが必修となり、小・中学校でのデモ授業や先生方への指導法の講習も行った。この際、講師となった皆川孝先生は「ロボット・コンピュータに使われる人間になるのか、使いこなす人間になるのか」と分かりやすく力説していた。近年の「ロボコン教室」の人気はますます、来年度の生徒募集は少人数に絞るといふ。

新発田科学技術教育ネットワーク

検索

### 編集後記

議会報告会ではリニューアルした新・議会報の評判がすこぶる良く、ホッと胸をなでおろしています。今回は新たに募集した議会報の愛称の選考過程と結果を掲載しました。

応募総数は32点、同じ提案があったため、合計31案でした。そのうち「ネス」が含まれるものが4点ありました。「みんなのために！」にも惹

かれました。そう、議会はみんなのためにあるんだよね、と再認識した次第。しかし、投票の結果、大方の予想通り親しみやすい「ヨミネスしばた」に決定しました。

次はマスコット・キャラクターの選定。議会は身近に、いつもあなたと共にあります。

（文責・阿部聡）

【編集委員】委員長／宮崎光夫 委員／小柳はじめ・阿部聡・小林誠・加藤和雄・石山洋子